

王力雄先生を囲む大阪読者の会

日時：3月13日（日）17時開場、17時30分開会

プログラム：王力雄先生の講演（進行、通訳・劉燕子）

質疑応答

歓談と会食

場所：トロワ・テロワール 大阪市福島区海老江5-1-8-2F

06-6453-5195

・阪神野田駅から徒歩2分。改札を出て右、関西アーバン銀行の角を右、国道2号線を神戸方面に歩き、ナリス化粧品ビルのビルを過ぎ、焼き鳥「吉鳥」の上（2階）

・地下鉄千日前線野田阪神駅とJR東西線から徒歩2分。いずれも2番出口から地上に出て、同じく国道2号線を神戸方面に歩き、ナリス化粧品ビルのビルを過ぎ、焼き鳥「吉鳥」の上（2階）

参加費：10,000円（王力雄著『私の西域、君の東トルキスタン』集広舎を含む）

* 既にお持ちの方は7,000円。

連絡先：劉燕子 090-9286-0563

Yanzi@mta.biglobe.ne.jp

* なるべくお早めにご連絡ください。会場は25名までです。

1. 王力雄先生プロフィール

劉曉波氏の畏友で独立精神ある知識人。

1953年、吉林省生まれ。中国の著名な作家、民主化や民族問題の研究者。1978年に「民主の壁」に参加。1984年、単独で黄河の源流から筏で1200キロを下る。1994年、中国最初のNGO「自然の友」を創設し、中心メンバーとして活動していたが、チベット仏教僧の死刑に疑義を呈したことから、「自然の友」は当局の圧力を受け、2003年に組織存続のため王力雄の除名となった。

著書として、『漂流』（1988年）、『黄禍』（1991年）、『溶解権力』（1998年）、『天葬』（1998年）、『ダライ・ラマとの対話』（2002年）、『逶迤民主制・中国的第

三道路』(2006年)、『私の西域、君の東トルキスタン』(2007年、日本語版は2011年に集広舎から馬場裕之訳で出版。劉燕子監修・解説)。『聽說西藏』(2009年、ツェリン・オーセルとの共著)など多数。

王力雄の言論活動は内外で高く評価され、2002年、北京当代漢語研究所から「当代漢語貢獻賞」、独立中文ペンクラブにより「自由創作賞」、2003年、ヒューマンライツウオッチから「ヘルマン・ハミット賞」、2009年、チベットのための国際委員会より「真理の光賞」などを受賞。

2008年、ラサを中心に起きた流血の「3・14事件」に際して、畏友の劉曉波たちとともに「中国知識人有志のチベット情勢処理に関する十二の意見」を發表し、「善意、平和、非暴力の原則に従って民族紛争を適切に処理することを希望する」と表明。前記「真理の光賞」の授賞式では、この「十二の意見」署名者を代表して受賞に臨み、受賞講演では「〇八憲章」起草の中心的存在で、その發表直前に拘束された劉曉波の状況について訴えた。

2010年5月、王力雄氏は中国の一般市民とダライ・ラマ14世がネットを通して直接対話することを実現させ、その内容をツイッターで配信した。ユーザーは1万人以上にのぼり、とても画期的なところであった。さらに、2011年1月4日、ダライ・ラマ14世と中国有識者(主に人権派弁護士)によるネットを使ったテレビ会議を実現させた。これにより顔と顔を直接合わせて活発に議論ができ、お互いにチベット問題を非暴力で平和的に解決しようとする歩みがさらに一歩進んだ。

また、新疆ウイグル問題では、民族間の憎悪が出口のない状況に陥り、さらには「パレスチナ化」に至ろうとしていると警鐘を鳴らし、それが2009年にウルムチで起きた「7・5事件」に先がけていたことで、優れた先見性を持つ独立知識人であると評価された。

2. 来日の意義

(1) 私は、この十年間、国内で言論の自由のために苦闘している独立知識人や作家、及び海外亡命者と交流を深めてきました。彼(女)たちは日本の民主主義の歩みや模索、言論の状況、市民の関心や問題意識などにとても注目しています。かつて宮崎滔天、梅屋庄吉たちが、孫文を支援したという日本に対してとてもよい印象を持ち、期待しています。

しかし、今の日本では、歴史認識に引け目を感じて中国の民主化には口出しすることをためらい、また、経済的な利害関係を優先し、観光客や少子化対策

の留学生増加など功利的なことで中国を見たりする傾向が強いと言えます。このため、官も民も彼（女）たちに関心を向けていません。

（２）王力雄・ツェリン・オーセルご夫妻は、劉曉波と同様に勇気と良識を備えた不屈の独立知識人です。オーセルさんは数々の国際的な賞を受けても、パスポートが取得できず、出国さえできません（去年は「勇敢なる作家」という賞を受けました）。

王さんは日本の民主主義にかねてから注目してきました。この機会に日本の知識人や市民と有意義な交流ができることをとても期待しています。私は微力ながら、少しでも王さんの期待に応えようと努力しています。

中国の良識ある独立知識人の声を直接日本に知らせることは、極めて重要かつ必要なことです。

また、中国が事実上の一党独裁体制にあつて、過度の民族主義や愛国主義が宣伝される現状が改革され、民主化に向かうことは、日本の平和と民主にとっても密接に関連しています。王さんはオーセルさんともども中国の将来の鍵となる人物です。是非ご注目ください。

実は劉曉波さんも日本の民主主義に関心を向け、来日などが話題になりました。そして、私なりに大学や基金会などについて考えましたが、何も具体化できないうちに投獄されてしまいました。とても残念でなりません。ですから王力雄さんの来日は是非とも実現させたいと思っております。でも、私だけでは何もできません。是非ともお力添えをお願いします。

なお、以下もご参考にしてください。

王力雄さんと交わす緊急のメールや電話で状況の厳しさが伝わってきました。最近の中東における民主化の動きを、中国政府も神経をとがらせ、一部の人権派弁護士、独立精神ある知識人、市民運動家の監視を強めています。今までオーセルさん・王さんご夫妻にとって、威嚇やいやがらせは日常茶飯事ですが、それがさらに強まっています。

それにも関わらず、王さんは最大限に努力して来日しようとしています。3月という時期をもしかしたら延期するようになるかもしれません。王さんもまた出国できなくなる可能性もあります。王さんは、綿密な計画を立てる日本人にとってとても迷惑をかけることで心苦しいのですが、これが中国の実情で、その中でも全力で努力すると言っております。

諸先生各位は、きっと王さんの良き理解者だと思えます。これからも絶えず王さんと緊密に連絡しあいますので、よろしくをお願いします。